



IT Holdings

# 2013年3月期 第1四半期決算説明資料

平成24年7月31日

ITホールディングス株式会社

Copyright © 2012 IT Holdings Corporation

ITホールディングスグループ

## 2013年3月期第1四半期 業績概要

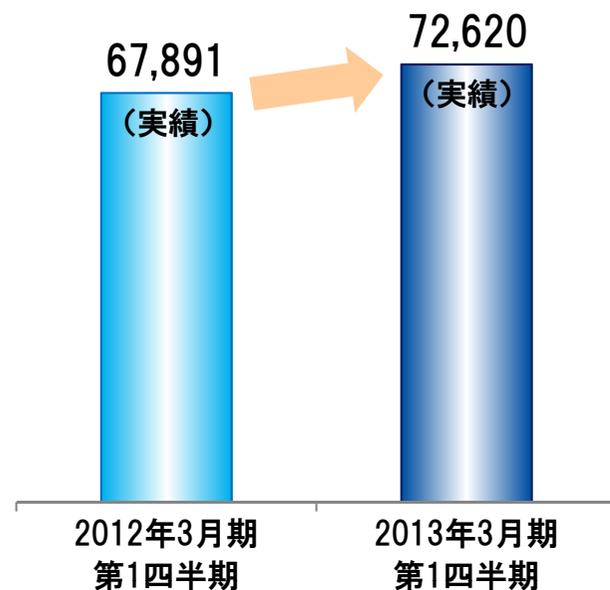
2013年3月期 業績見通し

参考資料

- 欧州債務危機に伴う影響懸念等から日本経済は金融業を中心に先行き不透明な状況にあった。
- 情報サービス産業においては、顧客のIT投資動向が全体としてまだら模様ながらも一部には投資再開の動きも見受けられた。こうした顧客ニーズに的確に対応することで当社グループの受注状況は好調に推移。
- 増収増益決算となり、営業利益は黒字化を果たした。  
 売上高:産業ITサービスが牽引し、前年同期比7.0%増。  
 営業利益:増収効果に加え、構造改革効果や不採算案件の抑制等により、大幅に改善。黒字化。

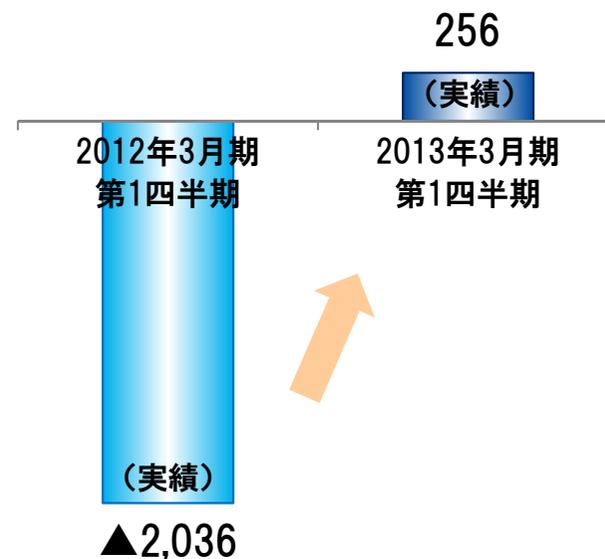
<売上高>

前年同期比: +4,729百万円(+7.0%)



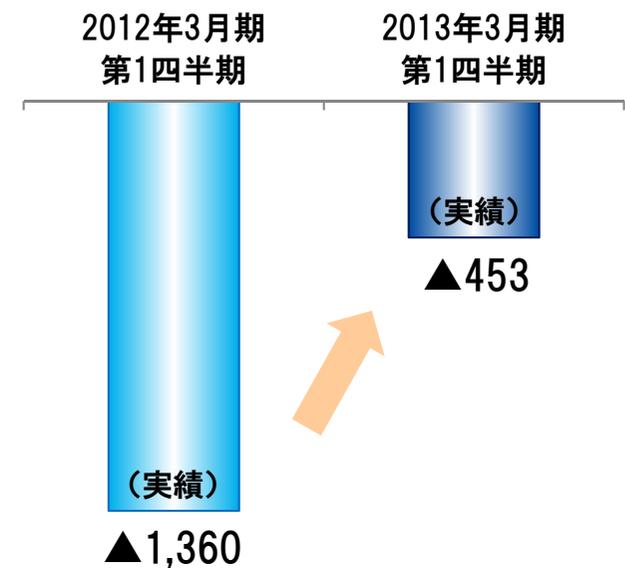
<営業利益>

前年同期比: +2,292百万円



<四半期純利益>

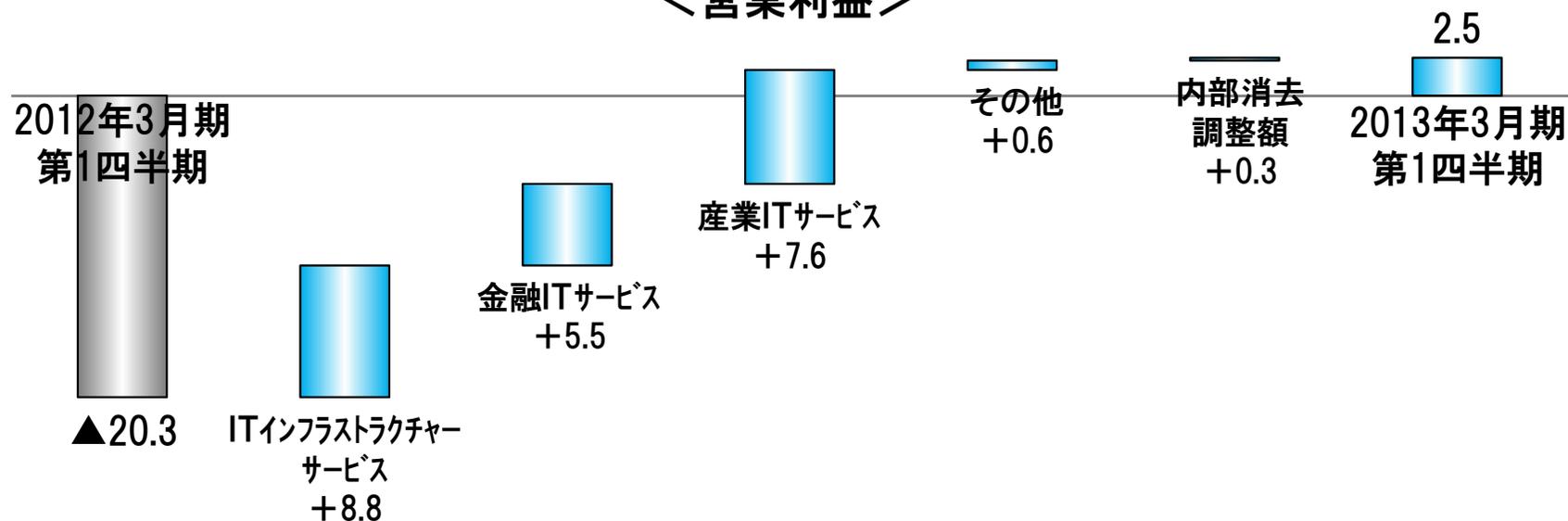
前年同期比: +907百万円



<売上高>



<営業利益>



# 2013年3月期第1四半期 主要セグメント別損益状況

(単位:百万円)



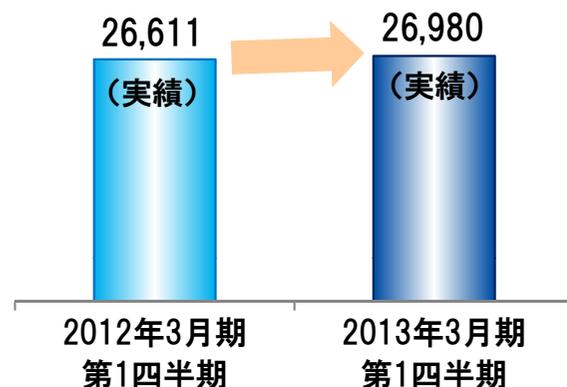
IT Holdings

## ITインフラストラクチャーサービス

<売上高>

前期比: +368百万円(+1.4%)

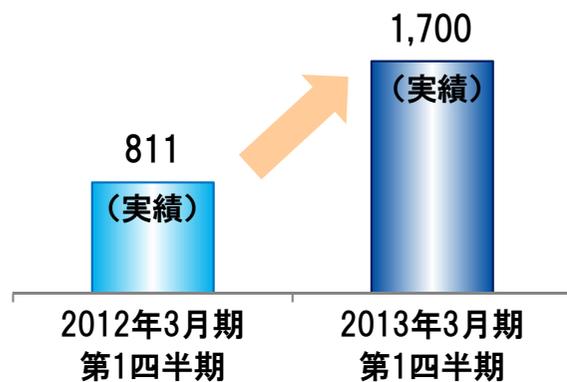
「GDC御殿山」をはじめとする次世代データセンター事業に対する需要増を背景に増収。



<営業利益>

前期比: +889百万円(+109.6%)

運営効率化によるコスト低減等により、大幅増益。

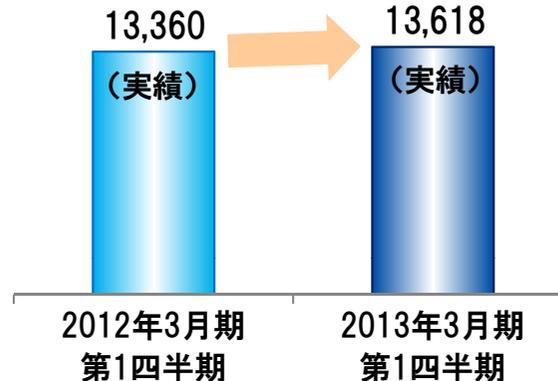


## 金融ITサービス

<売上高>

前期比: +258百万円(+1.9%)

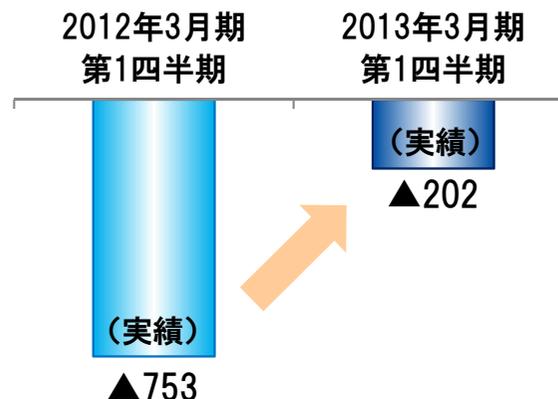
一部のクレジットカード会社においてIT投資再開の動きが見られたこともあり、増収。



<営業利益>

前期比: +551百万円

構造改革効果の寄与等により、利益水準が改善。

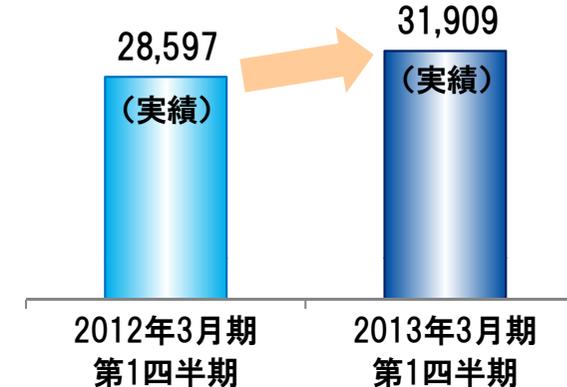


## 産業ITサービス

<売上高>

前期比: +3,312百万円(+11.6%)

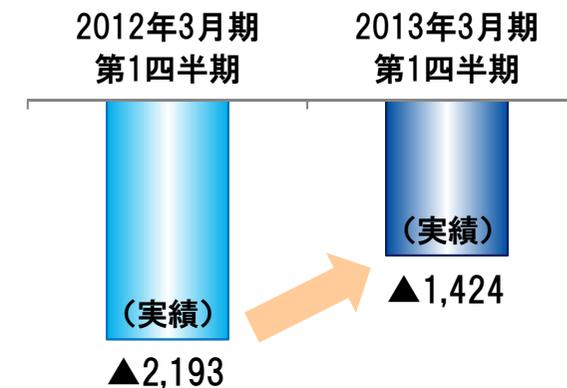
製造業大手顧客向け大型開発案件、一部案件の検収時期の早期化等により、大幅増収。



<営業利益>

前期比: +769百万円

不採算案件の抑制や増収効果等により、利益水準が改善。



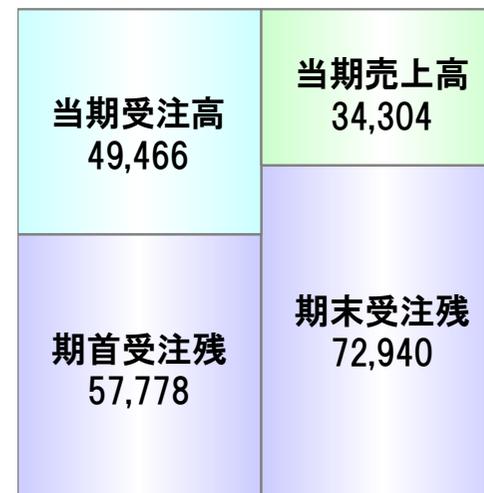
各セグメントの売上高はセグメント間の売上高を含んだ数値です。

産業分野の中小型案件等の積上げに加え、金融分野も底打ちし、受注高・受注残とも前年同期比大幅増。

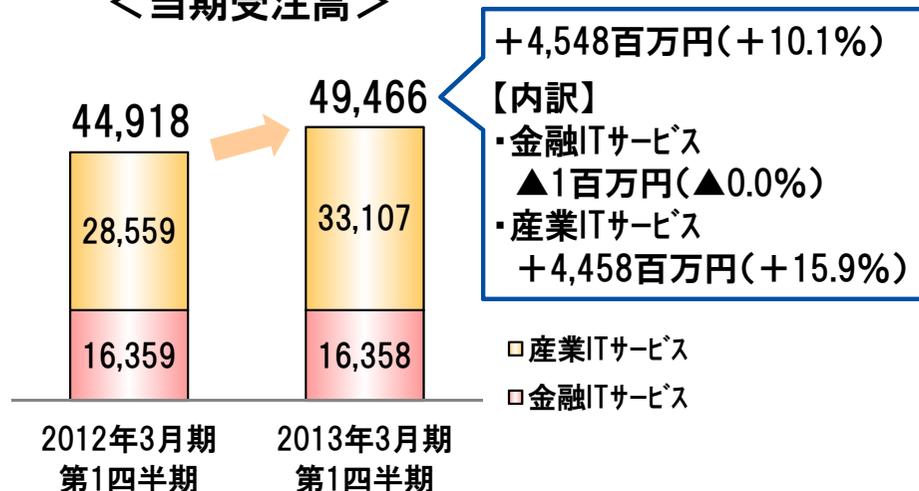
## <2012年3月期第1四半期>



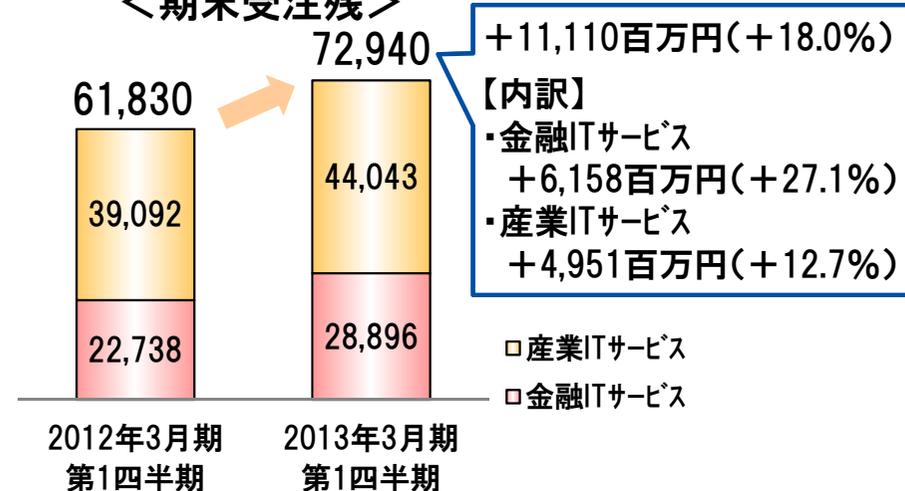
## <2013年3月期第1四半期>



### <当期受注高>



### <期末受注残>



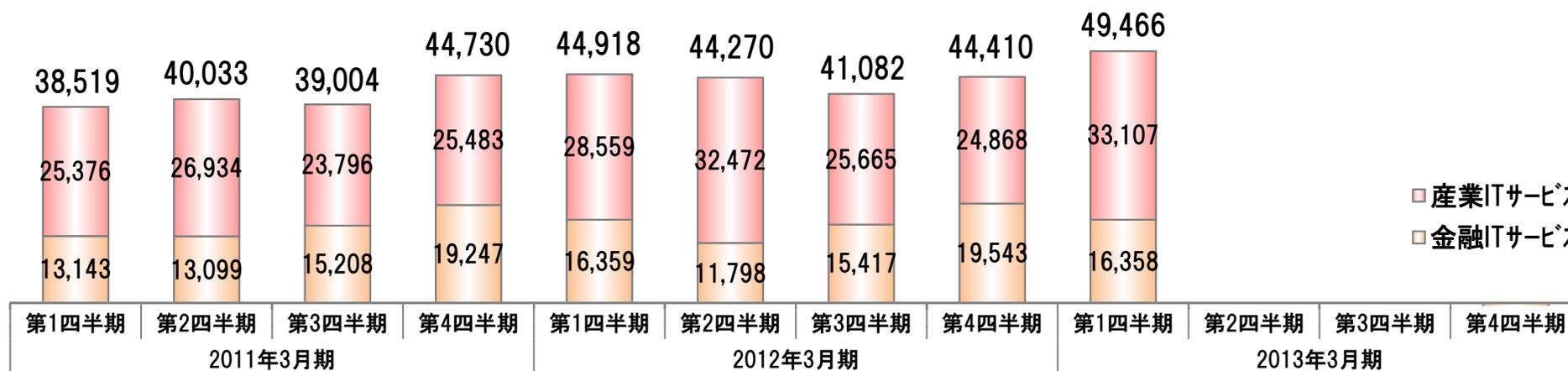
当期受注高・当期末受注残・当期売上高は「ソフトウェア開発」に係るもののみ。

# 受注状況(四半期別推移)

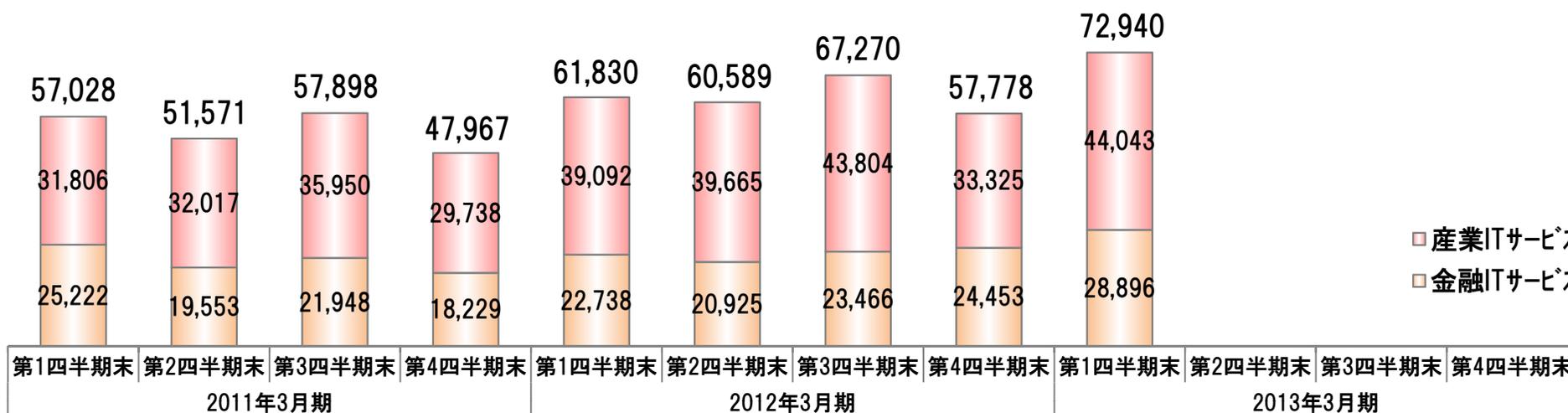
(単位:百万円)



## <受注高>



## <期末受注残>



当期受注高・当期末受注残・当期売上高は「ソフトウェア開発」に係るもののみ。

2013年3月期第1四半期 業績概要

2013年3月期 業績見通し

参考資料

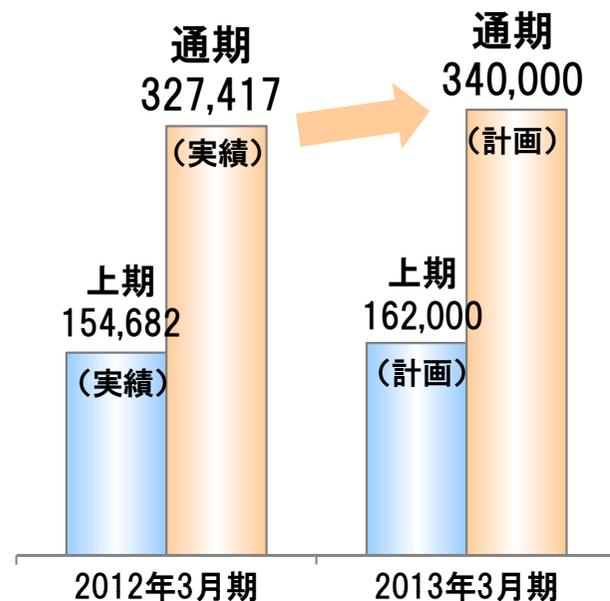
▶現時点では概ね計画通りに進捗しており、業績予想の変更はなし。

**売上高**：製造業の大手顧客向け大型開発案件の拡大のほか、産業分野での拡大継続を見込む。期末受注残の積み上がりは安心材料の一つと考えている。

**営業利益**：前期の構造改革効果等の一方、先行投資や電力料値上げの影響等を考慮した水準。

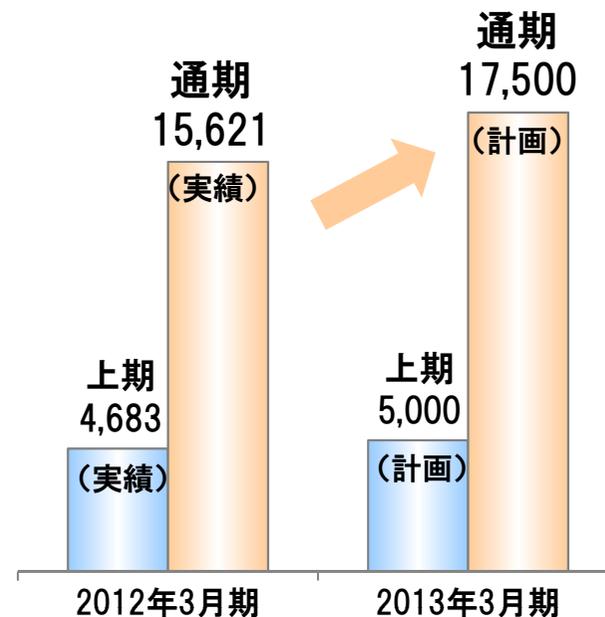
<売上高>

前期比: +12,583百万円(+3.8%)



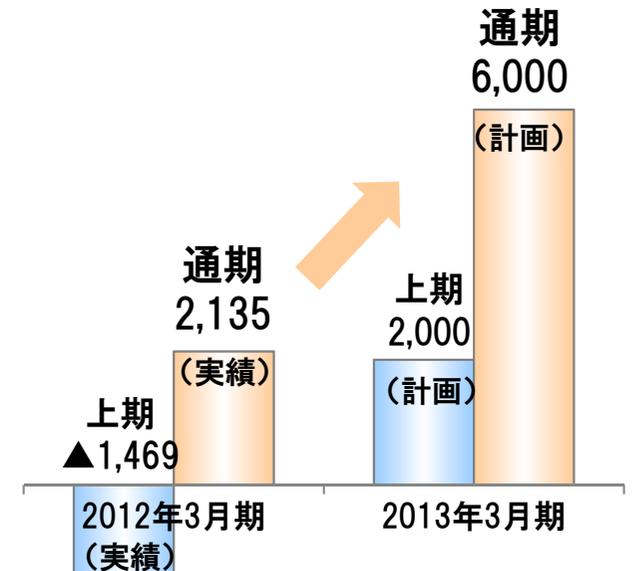
<営業利益>

前期比: +1,879百万円(+12.0%)



<当期純利益>

前期比: +3,865百万円(+181.0%)

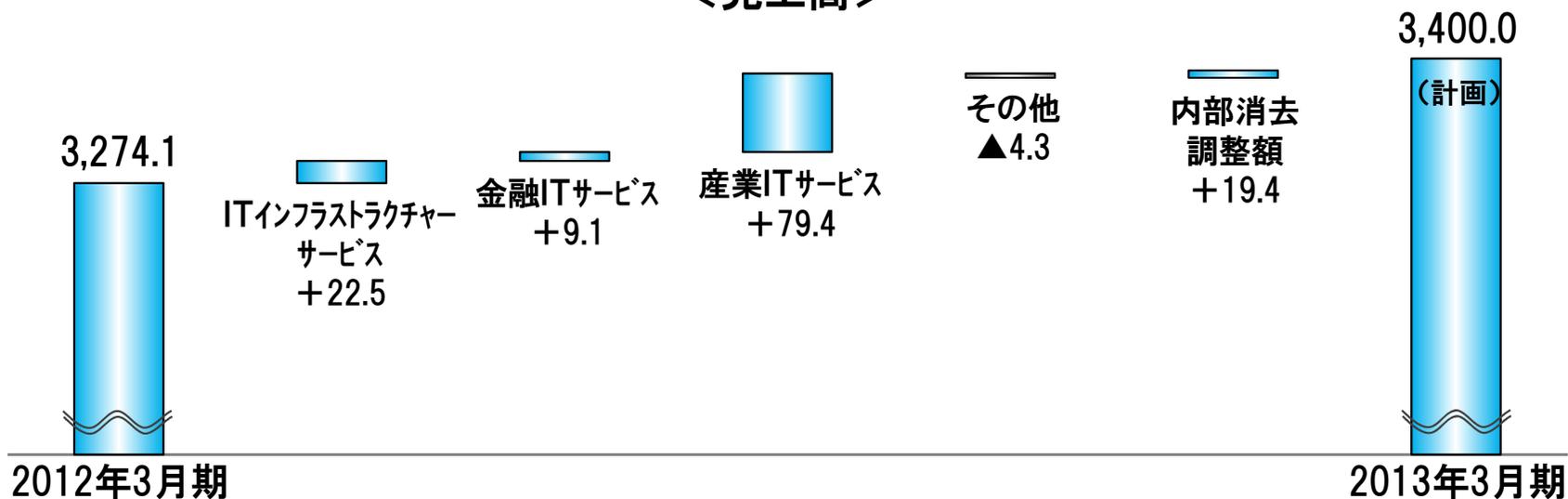


# 2013年3月期通期 売上高・営業利益増減分析

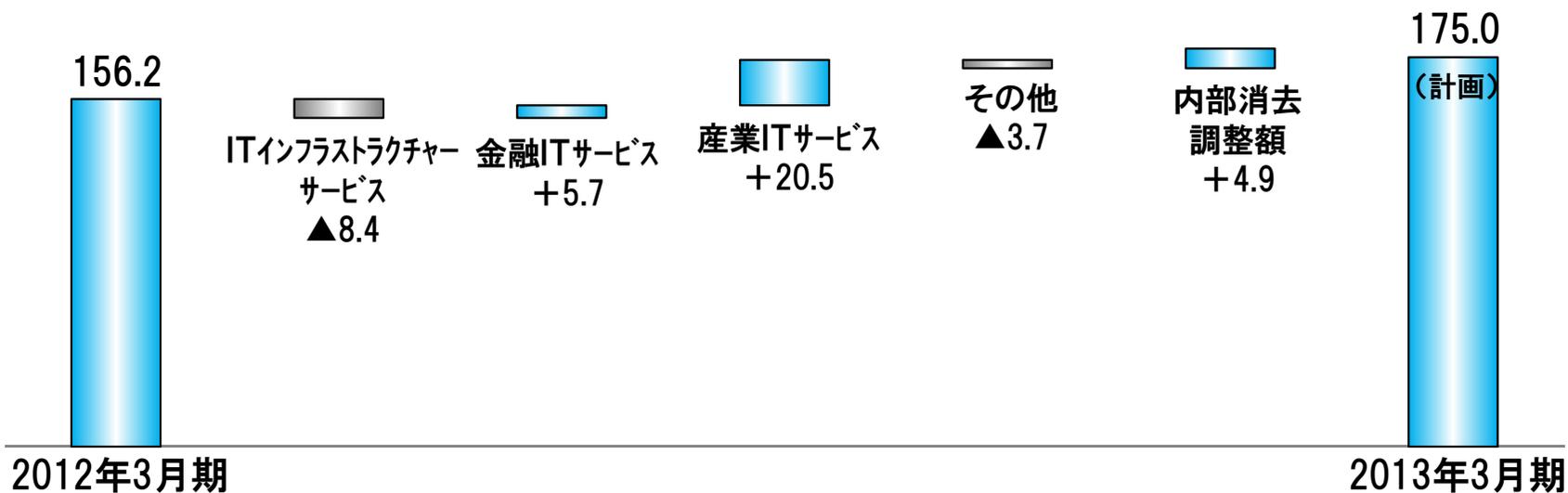
(単位:億円)



## <売上高>



## <営業利益>



## 2013年3月期通期 主要セグメント別損益状況予想

(単位:百万円)



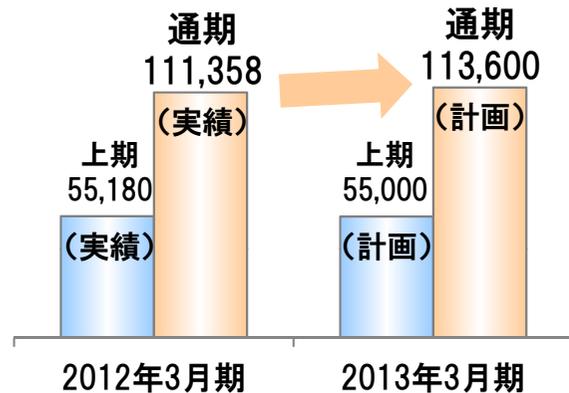
IT Holdings

## ITインフラストラクチャーサービス

## &lt;売上高&gt;

前期比: +2,242百万円(+2.0%)

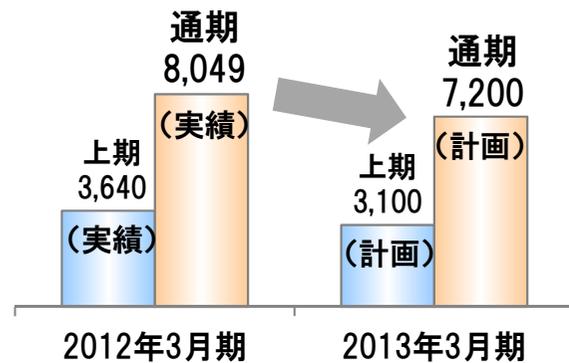
BCP・DR需要等に伴うGDC御殿山の稼働向上により増収を見込む。



## &lt;営業利益&gt;

前期比: ▲849百万円(▲10.5%)

GDC御殿山が稼働向上により改善するが、電力料値上げの影響により、減益を見込む。

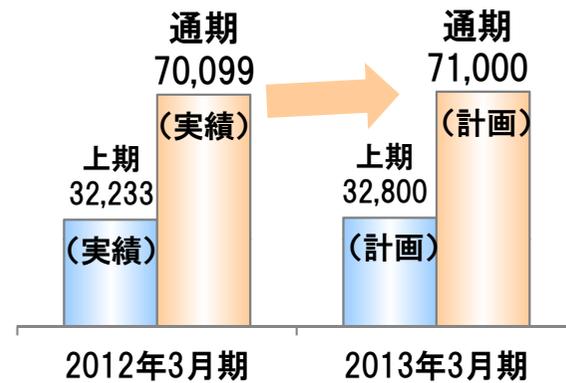


## 金融ITサービス

## &lt;売上高&gt;

前期比: +901百万円(+1.3%)

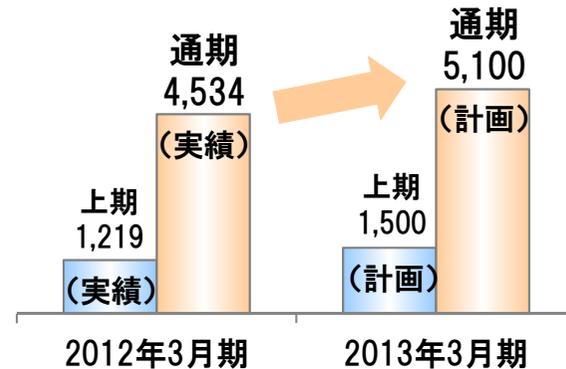
カードの持ち直し等により増収を見込む。



## &lt;営業利益&gt;

前期比: +566百万円(+12.5%)

カードの持ち直しに伴う稼働率向上等により増益を見込む。

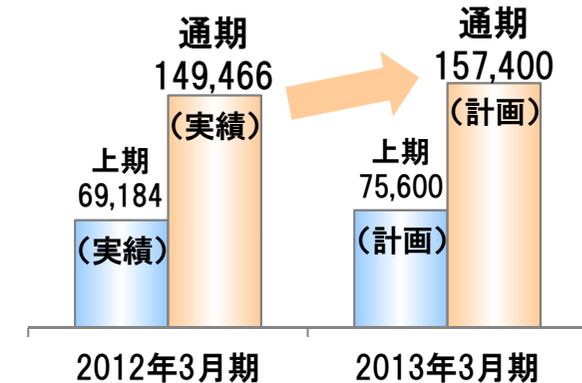


## 産業ITサービス

## &lt;売上高&gt;

前期比: +7,934百万円(+5.3%)

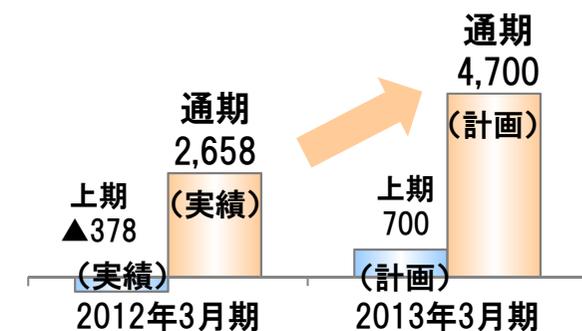
主要顧客向け大型案件の拡大が寄与するほか、産業分野の拡大継続により増収を見込む。



## &lt;営業利益&gt;

前期比: +2,042百万円(+76.8%)

増収効果等により、増益を見込む。



各セグメントの売上高はセグメント間の売上高を含んだ数値です。

2013年3月期第1四半期 業績概要

2013年3月期 業績見通し

**参考資料**

第2次中期経営計画 基本コンセプト	2013年3月期 ITHDグループ経営方針
<p><b>トップライン重視</b></p>	<p><b>本格的なV字回復の年度と位置付け、売上高拡大を図る</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループフォーメーションの進化(コア事業、成長分野に注力できる体制構築) ⇒アイ・ユー・ケイのITHD直接子会社からインテック子会社への変更決定(2012年7月)</li> <li>・顧客基盤の再構築、成長企業/成長分野への取組みを強化</li> <li>・営業の改革を図る</li> </ul>
<p><b>as One Company</b></p>	<p><b>グループ全体最適に向け、一体感を醸成する</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コーポレート機能の整理集約</li> <li>・先行投資を可能にする強靱な財務基盤の確立 ⇒CMS一体運用検討プロジェクト・連結納税制度検討プロジェクトの開始(2012年6月)</li> <li>・商品ブランド・コーポレートブランドの強化 ⇒ブランド委員会の設置(2012年7月)</li> <li>・次期グループ経営管理システムの構築</li> <li>・ITHDカレッジの創設 ⇒グループ共同研修の開催決定(2012年7月)</li> </ul>
<p><b>進取果敢</b></p>	<p><b>事業面の変革を行う/サービス化・グローバル化へ踏み出す</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市場起点サービス展開のためのマーケティング機能を強化</li> <li>・ASEANを中心にグローバル化を加速</li> <li>・投資委員会の設置</li> </ul>

➤ 『TIS Enterprise Architecture Laboratory』を開設  
(2012年5月)

アプリケーションやハードウェアなどITシステムの概念実証(Proof of Concept)をもとに、企業のビジネスに寄与する効果的なIT戦略の立案を支援

⇒第1弾として、オラクルのエンジニアド システムズを活用した、効果的なIT戦略の立案を支援する検証環境を提供。

■EA Labによるお客様への価値提供

製品導入サイクル	お客様のベネフィット
事前調査・POC	HW/SWライセンス購入前に投資対効果を測定可能
検討	提案精度向上による検討期間の短縮
導入	期待通りのパフォーマンスを享受
保守・サポート	保守精度の向上によるシステム安定稼働



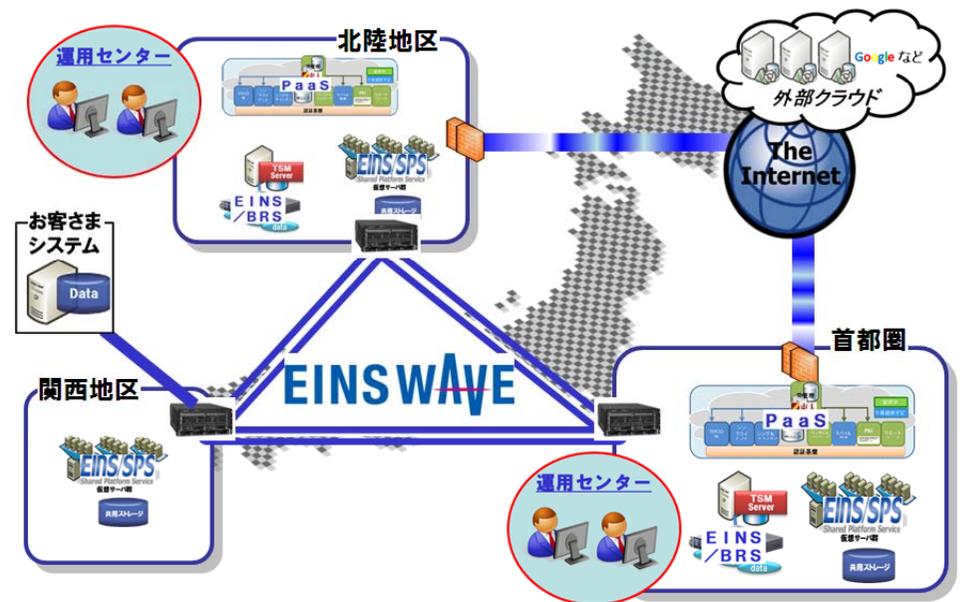
【写真左】  
オープニングセレモニーの模様

【写真右】  
検証ルームが設置された次世代型データセンター「GDC御殿山」

➤ 国内初の広域仮想クラウドサービス「EINS WAVE」の提供を開始(2012年6月)

国内3地域(首都圏、北陸、関西)のデータセンターを接続。各データセンターで稼働するクラウドサービスを、二重化した運用管理体制のもとで全国規模の1つの仮想クラウドサービスとして提供。

<EINS WAVEの全体イメージ>



EINS WAVE:「Extended Infrastructure Service Wide Area Virtual cloud Environment」の略

発表日付	タイトル
2012/4/2	スケールアウト型クラウドソフトウェア『EXAGE(エクセージ)』新製品
2012/4/2	ビッグデータ時代の超高速ログ記録を実現するソフトウェアEXAGE / Loggerを提供開始(インテック)
2012/4/9	TISとインテック、会員登録時の本人認証の信頼性を高める『携帯電話認証サービス』を提供開始(TIS/インテック)
2012/4/19	インテック、ID管理ソリューション「結人」、「東人」の最新版をリリース(インテック)
2012/5/10	スケールアウト型クラウドソフトウェア『EXAGE(エクセージ)』がさらに充実(インテック)
2012/5/16	TIS、アプリケーションからハードウェアまでのシステムの概念実証を行う『TIS Enterprise Architecture Laboratory』を開設(TIS)
2012/5/29	個人投資家を対象とした投資及び景気動向に関する第12回「定点観測レポート」発表(キーポート・ソリューションズ)
2012/5/29	ACメディカル、日中韓台の4か国CROによるアライアンス体制を確立し、グローバル治験受託サービスを開始(ACメディカル)
2012/6/4	三洋化成工業が、グローバル化の推進に向けて3か国、7拠点の海外連結子会社の基幹業務システムを統一(TIS)
2012/6/6	インテック、金融機関向けモバイル活用プラットフォームサービス「F3(エフキューブ)mobile Shield Center service」の提供開始(インテック)
2012/6/7	クオリカ、生産管理システム「AToMsQube」を活用し、お客様オリジナルのシステムを高品質、短納期、低コストで構築(クオリカ)
2012/6/8	インテック、国内初の広域仮想クラウドサービス「EINS WAVE」提供開始(インテック)
2012/6/12	TIS、機能強化した中国国内向けPaaS/IaaS型クラウドサービスの「飛翔雲」を提供開始(TIS)
2012/6/13	インテック、金融機関向け金融犯罪対策ソリューション「F3(エフキューブ)アンチ・マネーロンダリング対応ソリューション」を開発開始(インテック)
2012/6/14	日本セーフネットとTISが、認証および暗号化製品でリセラー契約締結(TIS)
2012/6/18	インテック大連(英特克信息技术(大連)有限公司)設立(インテック)
2012/6/19	ネクスウェイとドリーム・アーツ、チェーンストアの経営と現場のPDCAサイクルを支援する『店舗matic』にエリアマネージャ/SV向け店舗巡回レポート機能を追加(ネクスウェイ)
2012/6/27	Web・電話連動型 O2Oサービス「Callクレヨン」「ASP・SaaS・クラウドアワード2012」の「先進技術賞」を受賞(TIS/インテック)
2012/6/27	TIS、Google Appsなどのクラウド間連携と営業支援(SFA)機能を強化した『ナレジオンGeneration2』で、中堅・中小企業向けの情報共有を支援(TIS)
2012/6/29	TISと日本ネクサウェブが業務システムの“VBマイグレーション分野”で協業(TIS)



## IT Holdings

**(ご注意事項)**

- ・本資料ではITホールディングスを略称名(ITHD)にて記載しています。
- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、ITHDグループ(ITHDおよびグループ会社)が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。